

Relationship between situations and required education

日本が直面している事態とTACMEDAが提供するコースの関係

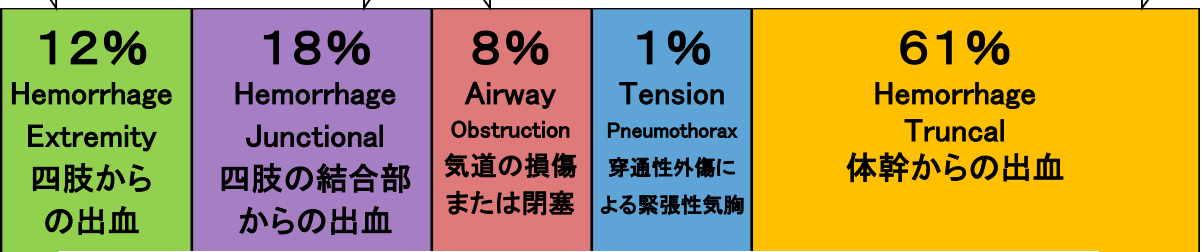
MTF: Medical Treatment Facility

野外に応急的に設置される治療施設および病院のような恒久的な治療施設

提供しているコース名
受講することにより救命できる
ようになる症例の割合

Time scale from injury to Preventable Trauma Death

受傷から防ぎ得た外傷死までの時間的尺度



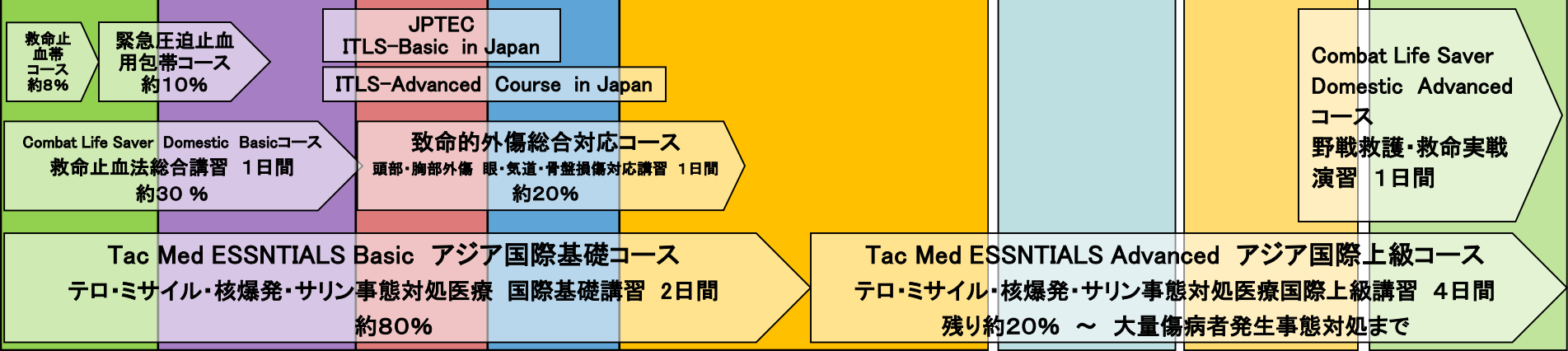
CBRNe
Chemical
Biological
Radiological
Nuclear
explosive

Ballistic Missile
弾道ミサイル

War Natural Disaster
戦争
自然災害

Potentially Survivable pre-MTF casualties
治療施設搬入前に適切な処置を施せば救命できる症例の割合.

Mass Casualty Incident
大量傷病者発生事態



出典: Brian J Eastruge, Mabry RL, Seguin P, et al.: Death on the battlefield(2001-2011)

: Implication for the future of combat casualty care. J Trauma Acute Care Surg 73(6 Suppl 5): S431-S437, 2012を一部改変

教育実績と受講により期待される効果 Educational achievement Education effect

As of September 1, 2017

2015年12月1日創立以来の実績 Achievements from foundation from December 1, 2015.

開始時期 Start time	February 20, 2016	January 31, 2016	May 29, 2016	May 22, 2016	June 24, 2016	合計 total
コース名 Course Name	Tac Med ESSNTIALS アジア国際コース ITLS recommended	致命的な外傷総合対応コース	救命止血法総合講習	止血帯・包帯使用法 基本コース	依頼による教育コース・海外教育・官公庁コース	
受講者数 Number of students	349	185	158	82	1,035	1,809

前提: 銃創、爆傷、刃物による致命的な外傷では、受傷後2分で死亡するおそれがあり、非外傷性心停止よりも対応時間が短い

「救命止血帯コース」(3時間)

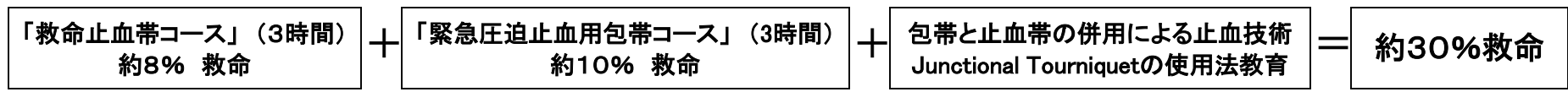
防ぎ得た外傷死の約8%に対応できるようになる。受傷後2分で死亡するおそれがあるところを約20分間引き延ばすことができるようになる。

「緊急圧迫止血用包帯コース」(3時間)

防ぎ得た外傷死の約10%に対応できるようになる。止血帯のみでは20分間とその痛みには耐えられないが、包帯等による止血法に切り替えることができれば、治療を受けるまでに時間を6時間まで引き延ばすことができる。

「救命止血法総合講習」 Combat Life Saver Domestic Basicコース(7時間)

「救命止血帯コース」と「緊急圧迫止血用包帯コース」の内容に、包帯と止血帯の併用による止血技術、骨盤や手足の結合部からの出血への止血技術教育が加わり、防ぎ得た外傷死の約30%に対応できるようになる



「致命的な外傷総合対応コース」(7時間)

頭部外傷、胸部外傷、眼損傷、骨盤損傷への救急処置と初級気道管理技術について習得し、防ぎ得た外傷死の約20%に対応できるようになる

「Tac Med ESSNTIALS Basic アジア国際基礎コース」 テロ・ミサイル・核爆発・サリン事態対処医療 国際基礎講習 (2日間:15時間)

「救命止血法総合講習」と「致命的な外傷総合対応コース」の内容に、危険な状況での気道管理技術、輸液療法が加わり、防ぎ得た外傷死の約80%に対応できるようになる。国際認定が受けられるため、海外での救護活動、外国人への救護の提供に大いに役立つ

